



The sky's the limit.



女子ユース審判員研修会開催 2023.04.08-09 東雁来公園サッカー場

審判委員会では、「第5回U-13北海道女子8人制サッカーフェスティバル」において女子ユース審判研修会を開催しました。

初めて審判を担当する子がほとんどで、戸惑いを感じながらも選手以外のサッカーへの関わり方があるということを実感してもらえたのではないかと思います。

今回は女子審判員のみを対象とした研修会でしたが、今後は男女の垣根を越えた全てのユース審判員を対象に研修会を継続して行っていきたくと考えております。

参加者のコメント

8人制の試合はボールがどこに行くのか予想が出来ず、当たりそうになってしまう事があるので次やる機会があったら改善しようと思いました。まだまだオフサイドなど見れないところがあったので見れるような動きなどしていきたいです！(H.Iさん)

初めての主審を経験して、笛の吹き方などの基本のことから優しく教えてくれて、周りを見ながら動いたりすることができたので今後活かしていきたいです(A.Yさん)

緊張してしまい、ミスをしてしまった部分もあったのですが、前回の講習で教えてもらったことを今回行うことが出来たので良かったです！また、主審では選手との距離感が難しく、ボールが当たってしまいそうになったところがあったのでそのようなところも含めてまたこのような機会があったら改善出来るように頑張りたいと思います！(M.Iさん)

初めて笛を吹きました。部活の練習試合や紅白戦で副審はやったことがありましたが、主審はやったことがなかったので、楽しみな気持ちもありつつとても緊張しました。ボールばかり見ていてオフサイドをちゃんと見れていない、自分が立っている場所や角度が悪くてどちらが出したのかわからない、ファールがあったかがわからない、ということがありました。今までにやったことのある副審とはちがいで、見ていなければいけないものや考えることがとても多く混乱してしまうことが多かったです。また、インストラクターの皆さんと一緒に教えてもらっている方たちがたくさん話しかけてくれて試合の合間やプレハブにいる時に緊張することなく楽しんで過ごすことができました。今回の体験を通して、改めて審判の方々の凄さや審判の難しさを知ることができました。(M.Oさん)

最初は、初めてやるが多すぎて戸惑いながらやっていたけどやっていくうちにたくさん学ぶことがあってすごく面白かったです。(M.Iさん)

いつも選手として試合をしている時に、主審の位置や動きは意識したことがなかったし、存在感もなかったのですが、それが主審としてとてもすごいことだとわかりました。自分が主審をやった時は、選手の邪魔になりそうだったので、動き方や、常に情報を集めないといけないことなど、とても難しいなと思いました。(Y.Nさん)

初めて一人で主審をやって、動き方がわからなかったけどアドバイスを聞いて最後には動き方が少しわかる様になりました！今回学んだことを忘れずにたくさんチャレンジして色々なことに繋げていきたいです！(K.Kさん)

北海道サッカー協会審判委員会蝦名女子部長より（インストラクターとしてご参加いただきました）

この度、U-13女子8人制サッカーフェスティバルの大会におきまして、7名の女子ユース審判員の方が参加された、女子ユース審判員研修が開催されました。

今回参加された女子ユース審判員の方は、実際にフィールドに立ち、笛を吹いたり旗を持ち判定することが初めてという方がほとんどで、張り詰めた緊張感の中、スタートしましたが、試合を重ねるにつれて、徐々に自信に満ちた表情となり、笛の音が大きくなったり、シグナルが堂々としたものとなったりと、みるみる成長していく様子うかがえて、頼もしく感じました。

研修会の最後のミーティングの際は、「これからも審判活動をつづけていきたい。」「さらに審判の活動を深めていきたい。」といった感想を述べられていて、本当に嬉しく思いました。

今回の研修は、空知地区審判委員会委員長の川合さんをはじめ、同地区協会女子部の長浜部長が中心となり大川インストラクターとともに親身に審判員のご指導にあたられていて、このような取組が女子審判員の普及・発展に欠かせないものであると確信いたしました。

ご協力いただきました関係者の皆様、この度は本当にありがとうございました。

- Referee Development Partner -

GOLD



にしみこども
クリニック

BRONZE

